

( 別紙資料 1 )

平成 2 3 年度学校業務改善に係る取組状況

南あわじ市、南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会

1 学校業務改善にかかる推進委員会について

(1)名称

南あわじ市教職員の勤務時間適正化検討委員会

(2)構成

小中学校校長代表(2名)、教頭代表(2名)、教職員代表(教諭1名、事務1名)  
教育委員会事務局(2名)

(3)開催状況

第1回 平成23年 4月25日(月) H23年度の取組について  
第2回 平成23年10月17日(月) 取組の進捗状況について  
第3回 平成24年 2月27日(月) H23年度の成果と課題について(予定)

2 取組状況

(1) H22 推進校、実践校の成果の普及について

教職員全員が個人メールアドレス取得による連絡・回覧の簡素化 (8校/24校)  
掲示板の利用等による打ち合わせ時間の短縮 (19校/24校)  
外部人材の活用 (19校/24校)

(2) 文書様式、学校ルールブックなどの市内の共通化、共有化に向けて

文書様式は、ほとんどの提出書類で共通化、共有化をしている。提出については、これまで公印が必要であった書類についても電子媒体で提出できるように改善を進めている。  
学校ルールブックの取組については、いくつかの学校で取組を進めているが、市としての取組にはなっていない。H24年度以降の課題としたい。

(3) ノー残業デーの実施率の向上に向けて

勤務時間終了時刻に全職員が学校を離れる取組を月に1回行っている学校があり、その取組内容を校長会、教頭会で紹介しながら、ノー残業デーの推進を指導している。  
ノー残業デーの実施は難しいと考えている教職員も多く、実施率の向上は難しいが、管理職の強いリーダーシップのもと、計画的にノー残業デーを実施するよう指導を行っている。

(4) 市教委独自の取組

指導要録作成の電子化  
各学校の共有フォルダの階層の統一

3 今後の課題

業務改善の取組について学校間で差がでてきている。業務改善が難しい学校にどう働きかけるかが課題となっている。